

令和6年（2024年）伊豆鳥島の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

○ 噴火警報・予報の状況、2024年の発表履歴

2024年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
------------	-------------------

○ 2024年の活動概況

海上保安庁が4月、9月及び12月に実施した観測では、伊豆鳥島の海岸付近で変色水域が認められ、9月の観測では、海岸付近に変色水とともに灰色の少量の浮遊物が認められました。また、12月の観測では硫黄山中央火口にごく少量の白色噴気が認められました。



図1 伊豆・小笠原諸島の活火山分布及び須美寿島の位置図

伊豆鳥島は、東京の南約600kmに位置します。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、海上保安庁のデータを使用しています。また、資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 伊豆鳥島 地形図



図3 伊豆鳥島 4月20日の状況

- ・ 4月20日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、北部の船見岬周辺及び南東岸の三ツ石～燕埼の間で、変色水域の分布が認められました。なお、図の色については実際の色調と異なるため、変色水の色は不明です。

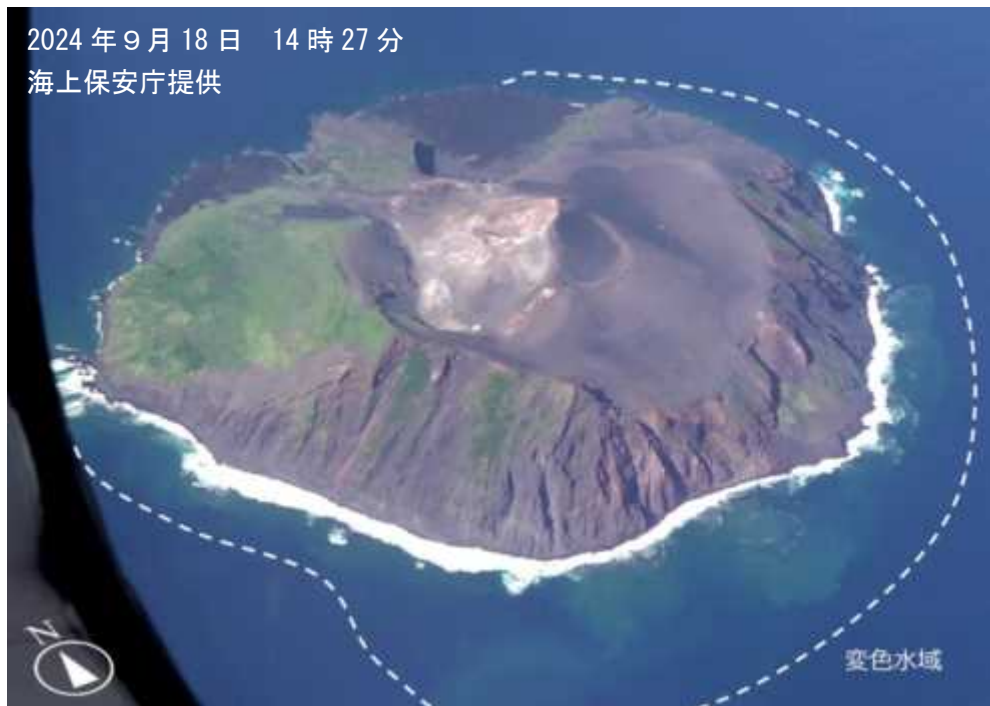


図4 伊豆鳥島 9月18日の状況

- ・9月18日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、東岸～南岸～西岸にかけて薄い緑褐色の変色水域及び灰色の少量の浮遊物を認められました。なお、観測された浮遊物と伊豆鳥島の火山活動との関連は不明です。



図5 伊豆鳥島 硫黄山中央火口 9月18日の状況

- ・9月18日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、硫黄山からの噴気活動は認められませんでした。



図6 伊豆鳥島 12月25日の状況

- ・12月25日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、北岸の一部と南岸の一部で少量の青白色の変色水が認められました。



図7 伊豆鳥島 硫黄山中央火口 12月25日の状況

- ・硫黄山中央火口にごく少量の白色噴気が認められました。